



## 水と緑、風薫るまち 緑丘学区

MIDORIGAOKA



緑丘小5年生/平成27年度  
小林 天太くん(緑丘一丁目)

大人になったら、大工になりたい。未来の緑丘は、自分の建てた家がある街にしたいです。



緑丘小5年生/平成27年度  
稻森 日菜さん(美合町・平地中)



緑丘小6年生/平成27年度  
院南 愛さん(美合町・平地東)



緑丘小6年生/平成27年度  
野瀬 康平くん(緑丘三丁目)

古き良き伝統を残しつつ、新たな物事を取り入れて、世界に発信していく街。そんな緑丘にしたい。

未来の緑丘へ、届け!  
希望のメッセージ

交通安全の輪を広げ、  
お年寄りも子どもも、  
みんな笑顔でいられる  
緑丘にしたいです。



編集後記

市制100周年記念事業のひとつとして、この「岡崎まちものがたり」の編集に携わることとなりました。年度当初は霧の中を手探りで進むようでした。回を重ねるごとに編集委員の意見もまとまり、だんだん道筋が見えて完成を迎えることができました。学区としては新しいものの、古墳、由緒ある寺、大工場、各種の学校と誇るものがあることに気付くことができました。編集委員として活動できたことを喜びに思いました。

この学区は、区画整理事業やマンションの建設により、他地区から多くの住民を迎え発展してきました。今も東部で区画整理事業が進められています。東南海地震も心配されるなか、編集テーマ「絆」と「交流」がますます大切になってきます。そして「共助」がスムースにできるよう、みなさんとともに今後も活動していきます。

〔作成委員会〕 鳥居正巳 / 吉岡啓 / 川田順三 / 林陽司 / 堤将就 / 榎木茂 / 山本恵一 / 泽田憲正

〔参考資料〕 緑丘十年 / 1995緑丘この10年 / 緑丘創立30年 / 本宗寺 / ふるさとの風 / 新編 岡崎市史 / 六斗目川の浄化活動

〔表紙写真〕 アジサイの咲く頃、地域で団結して行われる六斗目川美化活動 〔協力〕 緑丘小学校



△「お母さん、重いね」、「3人でやれば大丈夫」と、楽しげな会話が聞こえてきそうなお餅つき

▷月1回の清掃活動の様子。女性も大活躍



### 地元の声

当初は幅11mのオープン排水路の計画でしたが、区画整理組合に私たちの要望を聞き入れてもらって誕生した緑道です。月1回、ゴミ拾い、草取り、小枝伐採をするほか、菜の花やチューリップの植栽もしています。

「地域のシンボルに、そして住民のふれあいの場にしたい」との住民の要望から生まれた緑道。  
日頃は健康づくりの散歩をする人や、ベンチでくつろぐ人がいるなど、地域の憩いの場となっています。爽やかな緑の季節はもちろん、梅、モクレン、菜の花、藤、桜なども見られ、花を愛でながらの散策を楽しむこともできます。

また、ここでは町内の親睦と清掃活動などの慰労を兼ねた地域交流会

散歩に、花に、イベントに、  
地域住民が集う場所  
馬頭緑道を訪れる人々がふれあう



ばとうりょくどう  
馬頭緑道とは…  
馬頭観音伝説に因んだ名称を冠し、緑丘地区画整理事業（昭和48～61年）の完成を記念して造られた緑道。



△花や野菜が並ぶ実習販売。開催日は周辺の道路が混雑するほど賑わう



### 地元の声

毎週開催の実習販売は、生産者さんから直接野菜が買える機会なので、ありがとうございます。また農業を志す学生さんと野菜の作り方やその味について会話することも楽しみのひとつ。食の大切さも実感できますよ。

農業後継者及び農業の担い手を教育して養成する農業者研修教育施設。特に農学科は花き、作物果樹、野菜、畜産など、農業全般にわたる教育体制が整っており、全国から人材が集結しています。

ここでは毎週水曜日に消費者の声を直接聞くことを目的とした農畜産物の実習販売が行われています。採れたての野菜、切り花、卵、果物、米などを買い求める客で賑わい、地元をはじめ近隣からも人が訪れる交流の場となっています。

また12月の農大祭や、一般向けの校内見学「サマーキャンパス（農大キャンパスツアーアー）」なども企画。農業を身近に感じられる情報発信が多くなっています。

### 愛知県立農業大学校で農業と親しむ



あいちけんりつ のうぎょうだいがっこう  
愛知県立農業大学校とは…  
国の愛知種馬所として設立後、追進農場、追進営農大学校、県立農業大学校と変遷を遂げ、現在に至る。

2 竜南中学校開校。曲線を取り入れたモダンな造りの校舎が注目された  
1 緑丘小学校開校。子どもたちの喜びの声が聞こえてきそうな一場面  
平成26年の航空写真。区画整理後、多くの住宅が立ち並んでいる  
昭和52年の航空写真。区画整理中、一部地域で入居が始まっている

一八七八年・明治11	和合村、生田村、平地村が合併し、和合村となる
一八九〇年・明治23	美合尋常小学校創立
一九〇八年・明治41	和合村、岡村、保母村が合併し、美合村となる
一九一〇年・明治43	国立愛知種馬所開所
一九二六年・大正15	愛知電気鉄道（現名古屋鉄道の前身のひとつ）が美合駅開業
一九二八年・昭和3	美合村が岡崎市に合併する
一九三三年・昭和8	日清レイヨン（日清紡美合工場の前身）創業
一九四三年・昭和18	中川ヒューム管工業創業
一九五一年・昭和26	愛知県岡崎職業訓練所（昭和63年、県立岡崎高等技術専門校と改称）開所
一九七一年・昭和46	平地東に市営住宅250戸が建設される
一九七三年・昭和48	岡崎馬頭土地区画整理組合が認可される
一九七六年・昭和51	緑丘小学校北校舎完工
一九七七年・昭和52	火の穴古墳を緑丘小学校へ移築。小学校南校舎完工
一九七九年・昭和54	緑丘小学校体育館完工

一九七一年・昭和46	校舎未完成のため3・4年生は美合小学校教室を間借りしました
一九七三年・昭和48	岡崎馬頭土地区画整理組合は昭和50年に組合と改称されました
一九七六年・昭和51	岡崎馬頭土地区画整理組合が認可される
一九七七年・昭和52	この年に緑丘地区の住宅建設が開始され、人口増加に対応してきました
一九七九年・昭和54	岡崎馬頭土地区画整理組合と改称されました

## 緑丘学区のなりたち

馬頭村、生田村、平地村が合併し、和合村となる

和合村、岡村、保母村が合併し、美合村となる

美合尋常小学校創立

和合尋常小学校創立

### 学区の特色

私たちの学区は美合小学校の児童数増加に伴い、昭和50年4月1日、岡崎市第35番目の学区として発足しました。
昭和40年代から土地区画整理事業が行われ、この地区的名称が緑丘一丁目と改称されるなど、一大住宅地となりました。さらに大型マンション建設や蓑川町の一部も加わり、三丁目と改称された。
昭和40年代から土地区画整理事業が行われ、この地区的名称が緑丘一丁目と改称されるなど、一大住宅地となりました。さらに大型マンション建設や蓑川町の一部も加わり、三丁目と改称された。
昭和40年代から土地区画整理事業が行われ、この地区的名称が緑丘一丁目と改称されるなど、一大住宅地となりました。さらに大型マンション建設や蓑川町の一部も加わり、三丁目と改称された。
昭和40年代から土地区画整理事業が行われ、この地区的名称が緑丘一丁目と改称された。

人口	10,628人
男性	5,394人
女性	5,234人
世帯数	4,379世帯
面積	3.12km <sup>2</sup>

[2016年7月1日現在]



人と自然がふれあい、笑顔があふれる

## 緑丘学区の絆と交流

六斗目川での活動が  
人と人との繋いでいく



学区を挙げての本活動の様子

地域の絆を紡いでくれる  
かつては夏になると子どもたちが水遊びに興じるほどの清流だった六斗目川。しかし時代の流れから汚染が進み、誰からも見向きもされない川となっていました。そこで立ち上がったのが子どもたちでした。

「魚のすめる六斗目川にしようと」をスローガンに、平成9年から河川浄化の取り組みを始めた。現在では児童・PTAを含む住民約600人が一堂に会する活動となりました。



六斗目川とは…

美合町川向地区から乙川合流点までの延長0.47kmの河川。江戸時代に本宗寺の領土もあった緑丘。平均した年貢の石高が六斗であったことから、六斗が土地や川の名前の由来となったとされています。

### 緑丘小学校元校長 松井幸彦さんのお話

私が赴任した当時、六斗目川は悪臭漂う汚い川でした。学校でボランティアを募って緑化委員会を設置し、清掃、魚の放流、ブナの植栽、EM活性液投入などの活動を始めました。すぐに効果は表れませんでしたが、約3か月後に水が澄み、水草や魚も増えたのです。その川を見た子どもや地域の方の笑顔が今も忘れられません。



大人数での作業は協力が大切

地域全体での取組み  
かつては夏になると子どもたちも立派な川となっていました。そこで立ち上がったのが子どもたちでした。

最近では防災訓練も同時に行なうなど、地域を守る意識も今まで以上に高まっています。こうして六斗目川は学区民を繋ぐ大切な川となりました。

六斗目川が美しくなったことはもちろん、世代や立場の異なる住民が協力し合えたことは、喜ばしい出来事でした。

## きれいな川のために 二 清掃 & 美化活動

毎年、新緑の頃に2回に分けて活動が行われます。

### 第1回目（事前活動）

本活動に向けて刈払機なども使って行う事前準備。全員で安全に作業ができるようにと、学区のみなさんが黙々と作業をしています。

### 第2回目（本活動）

子どもたちは主に草やゴミを集めて運び、大人たちはその運び出しや掃除を行い、一致団結してきれいに片づけていきます。



水辺には色鮮やかなカワセミの姿も



児童見守り隊。ボランティアによるふれあいパトロール委員会が運営



当時の生徒が1人1枚ずつ描いた壁画。景色に潤いを与えている



現在は学区で行う六斗目川の美化活動も当初は小学校のみで始められた



子どもの家の開所。下校後の児童が安全に過ごせるようになった

二〇一五年・平成27

二〇一四年・平成26

二〇一九年・平成21

二〇一八年・平成20

二〇〇二年・平成14

二〇〇〇年・平成13

一九九七年・平成9

一九九一年・平成3

一九八九年・平成1

一九八四年・昭和59

一九八六年・昭和60

一九八七年・昭和62

一九八九年・昭和58

一九八四年・昭和59

一九八六年・昭和61

一九八七年・昭和62

一九八九年・昭和63

一九九一年・昭和64

一九九四年・昭和66

一九九七年・昭和69

二〇〇〇年・平成12

二〇〇一年・平成13

二〇〇二年・平成14

二〇〇〇八年・平成20

二〇〇二九年・平成21

二〇〇八年・平成21

二〇〇二年・平成14

二〇〇〇一年・平成6

一九九四年・昭和66

一九九七年・昭和69

一九九九年・昭和71

緑丘小学校が創立40周年を迎える

日清紡の繊維加工部門は徳島と海外へ移転、メカトロニクス部門は継続

県立みあい養護学校（平成26年、県立みあい特別支援学校と改称）開校

緑丘学区ふれあいパトロール委員会発足

平成20年8月末豪雨により緑丘二区の一部が浸水被害

これをおきつかけに浸水警報器が設置されました

緑丘学区福祉委員会発足

六斗目川沿いに緑丘小学生による壁画完成

このおきつかけに平成13年にはPTAと学区も連携した六斗目川河川美化活動が開始されました

緑丘学区青年の家開所

日清紡美合工場が纖維加工部門とメカトロニクス部門に分離独立

岡崎学区市民ホーム完工

小豆坂小学校開校

高年者センター岡崎開所

愛知県青年の家開所

日清紡美合工場に伴い、学区の一部が小豆坂学区へ編入

県道岡崎刈谷線開通

高年者センター岡崎開所

緑丘学区こどもの家開所

日清紡美合工場が纖維加工部門とメカトロニクス部門に分離独立

岡崎学区市民ホーム完工

小豆坂小学校開校

高年者センター岡崎開所

愛知県青年の家開所

日清紡美合工場が纖維加工部門とメカトロニクス部門に分離独立

岡崎学区

# 緑丘学区

小学校区の歴史は約40年と比較的新しいながらも、地域の起源は古く古墳時代とされる緑丘学区。火の穴古墳や徳川家ゆかりの本宗寺もあり、その長い歴史を感じることができます。また、愛知県立岡崎高等技術専門校、愛知県青年の家、高い特別支援学校、愛知県青年の家、高年者センター岡崎といった多くの公共施設も擁し、緑道や公園も備えた住みよい住宅地として知られています。

